

薬剤師だから知っている。3分間の薬と健康の裏情報

305号 脳梗塞の血栓溶解療法

3回シリーズの1回目



漢方の健康堂薬局の店主 長澤昭と申します。

3月11日（金）に発生した東北地方太平洋沖地震により、被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

305号からは、「脳梗塞の血栓溶解療法」と題して、3回シリーズでお伝えいたします。

305号 3回シリーズの1回目（5月10日発行）

1. 脳梗塞とは
2. 脳梗塞はその原因から大きく2つに分類されます

短編（科学のよもやま話）第224号（5月15日発行）

脳血栓にはしばしば「前ぶれ症状（警告発作）」があります

306号 3回シリーズの2回目（5月22日発行）

3. いつ起こりやすいか。脳血栓は季節の変わり目、脳塞栓は一年中？
4. お酒と脳梗塞
5. タバコと脳梗塞

短編（科学のよもやま話）第225号（5月29日発行）

「隠れ脳梗塞」と40代

307号 3回シリーズの3回目（6月5日発行）

6. 最後に



305号 脳梗塞の血栓溶解療法

1. 脳梗塞とは
2. 脳梗塞はその原因から大きく2つに分類されます

3回シリーズの1回目

1. 脳梗塞とは

私たちの身体は全身くまなく血液がめぐっています。血液（動脈血）によって酸素と栄養（ブドウ糖）が運ばれています。

脳梗塞とは、脳を栄養している血管がつまってしまった結果、酸素やブドウ糖供給ができなくなり、脳の組織が死んでしまう状態をいいます。脳組織は、血流が完全に途絶えてしまうと、数時間で回復不能のダメージを受け、血流の悪い部分から順に脳細胞は死んでしまいます。ですから、脳梗塞の場合、1分1秒でも早く治療を行うことにより、死んでしまう脳細胞の数を最小限にとどめることが、後遺症を最小限にとどめる決め手となります。専門の医療スタッフのいる施設で正確な診断のもとに迅速な治療を受けることが出来るかどうか重要であると言えます。

注) 昔は、脳梗塞の同義語として、「脳軟化」という言葉がよく使われました。脳は、死滅してしまうとドロドロの水っぽい状態になってしまうので、脳梗塞を「脳軟化」と呼んでいたのでしょうか。

2. 脳梗塞はその原因から大きく2つに分類されます

(1) 脳血栓

脳内の太い血管（主幹動脈）や頸動脈の動脈硬化が進行し、血管内に血栓ができてつまることにより起こります。従来は欧米人に多く、日本人にはまれといわれていました。しかし、食生活の欧米化に伴い、日本人にも増加してきているようです。

発症の「前触れ（前駆症状）」として、一過性脳虚血発作の症状がおこることがあります。安静時に起こりやすく、症状の経過はゆっくりで、徐々に悪くなるいわゆる「階段状の進行」をとりやすいとされています。

注) 一過性脳虚血発作とは
半身の麻痺やしびれ、軽い言語障害などの症状が起きますが、数分から数時間で感覚が戻り症状は消失します。症状が数分から数時間で治るのは、その間に血栓が溶けて流れたり、減少した血流が回復するためです。

症状は、片側の手足・顔・唇のしびれ、めまいなどです。つまりかけた血栓が血液中に流れ去ってしまうことにより、症状が一時的に改善することもあります。血栓により脳血流が完全に遮断されてしまうと、これらの症状が固定し、さらには運動麻痺へと発展してしまいます。

(2) 脳塞栓

血管がつまる以前は、脳の血流が十分に保たれているため、前駆症状は全くありません。血管がつまると突然その部分が障害される

ため、手足の麻痺やしびれ、言語障害や意識障害などの症状が突発的に起きます。このタイプの脳梗塞は、発症から3時間以内であれば、脳の血管につまった血栓（血の塊）を溶かすことで血流を再開通させる治療が可能です。悪化すると、手足の麻痺や意識障害などを生じ、死に至るケースも少なくありません。

以上、今週の内容でした。

—[プロフィール]—————[プロフィール]—

■長澤 昭（ながさわ あきら）1952年 静岡県生まれ

1980年に薬局を創業。

2000年、毎日新聞「アミューズ」に、「漢方薬に詳しい薬局」として、全国わずか35店のうちの1店として取り上げられる。

2001年、約300の病名・症状別の「病気別漢方選薬システム」を完成させる。

現在は、当店HPにて公開中

□注意・免責事項

◎一般の方向けの内容なので、厳密な医学用語は使用していません。医学的な専門性から考えた場合、妥当でない表現があると思いますが、なるべく平易な表現を使用するようにしてあります。

◎個別の健康相談を行うものではありません。

◎体の状態は個人によって異なっています。現在治療中の方はかかりつけの主治医と相談をしてください。

◎ご自分の責任の範囲でご利用ください。記載内容を利用し生じた結果について、当方では責任がとれませんのでご了承ください。

=====

薬剤師だから知っている。3分間の薬と健康の裏情報

発行者：漢方の健康堂薬局

発行責任者：長澤昭

<http://www3.ocn.ne.jp/~kenkodo/>

E-mail: <mailto:kenkodo@oregano.ocn.ne.jp>

「薬剤師だから知っている。3分間の薬と健康の裏情報」の本文は、著作権により保護されています。

ただ、個人的にお友達に転送することは自由です。その場合、このメルマガの一部だけを転送するのではなくて、全文を転送していただけると、うれしいです。よろしければ、お知り合いの知人、友人に教えてあげてくださいね（商用の場合を除く）。

転載の場合はご一報ください。

=====